

国際交流員ダニエルの

KANGA  
KOURYUU

カンガ交流



## オーストラリア人が使うあだ名

オーストラリアには6つの州と1つの準州、1つの特別地域があり、地域の魅力や歴史、特徴を表すあだ名があります。今回のカンガ交流では、オーストラリアの州や人々のあだ名を紹介します。州の魅力や歴史が分かるほか、英語の勉強にも役立つかもしれませんよ。

### 生き物の名前呼び合う2つの州

私の出身Queensland (QLD:クイーンズランド)州はきれいな海が有名で、青空の下でビーチを楽しむイメージから Sunshine State: サンシャイン・ステート



(=日光の州)と呼ばれます。また、バナナとサトウキビが有名で、QLDの人はBanana Bender(※)やCane Toad(=オオヒキガエル)と呼ばれることも。オオヒキガエルは昔、サトウキビを食べる害虫の駆除を目的に輸入されましたが、数が増えすぎて有害な動物になってしまいました。こういった皮肉を込めたあだ名で呼ぶのは、決まってラグビーリーグのライバルであるNew South Wales(NSW:ニュー・サウス・ウェールズ)州の人々。それに対し、QLDの人はNSWの人をCockroach(=ゴキブリ)と呼び、会場ではお互いにあだ名で言い合います。※Banana Benderはページ右上のオージー・スラング・タイムで説明しています。

### 歴史や土地柄が由来になっていることもある

最初の入植地であるNSWはFirst State:ファースト・ステート(=最初の州)と呼ばれ、NSWに囲まれたAustralian Capital Territory(ACT:オーストラリア首都特別地域)には首都があるため、Nation's Capital:ネイションズ・キャピタル(=国の首都)と呼ばれます。植物園が多いVictoria(ビクトリア)州はGarden State:ガーデン・ステート(=植物園の州)のほか、金が見つかった19世紀半ばにはGolden State:ゴールデン・ステート(=黄金の州)

## オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



### "Banana Bender"

読み方 「バナナ・ベンダー」

意味 「クイーンズランド州の人」

Banana Bender(バナナを曲げる人)は、オーストラリアのクイーンズランド州の人を表すスラングです。クイーンズランド州はバナナの産地として有名で、「クイーンズランド州の人々が、真っすぐに生えてきたバナナを曲げる仕事をしている」というジョークから、このスラングが生まれました。

という呼び名も生まれました。

広大な奥地が広がるNorthern Territory:ノーザン・テリトリー(=北部準州)はThe Outback State:ザ・アウトバック・ステート(=奥地の州)と呼ばれます。そしてWestern Australia(ウェスタン・オーストラリア)州はThe Real Thing:ザ・リアル・シング(=本物)と呼ばれ、これは「観光客に州の本当の魅力を知ってもらい、愛着を持ってほしい」という期待があるからです。

### 呼び名から分かる地域の名産品

最南端のTasmania(タスマニア)州の呼び名はApple Isle:アップル・アイル(=リンゴの島)。タスマニアは1778年にヨーロッパ移民が初めてリンゴの木を植えた場所で、今ではリンゴの名産地になっています。South Australia(SA:サウス・オーストラリア)州には有名なブドウ園があり、国の約半数のワインを生産しているためThe Wine State:ザ・ワイン・ステート(=ワインの州)の呼び名が有名です。しかし、最初の入植者は食料が乏しく、カラスなどを食べていたといわれていて、Crow Eaters(=カラスを食べる人)と呼ばれることがあります。これは皮肉を込めた言い方なので、あまり使わないでくださいね。



私はオーストラリアのあだ名を調べたとき、他の国の人が使うあだ名にも興味を持つようになりました。日本の県やそこに住む人々にゆかりのある面白いあだ名があったら、ぜひ教えてください。